

## 第3学年2組国語科学習指導案

指導者	T 1	小川中学校教諭	橋本和也
	T 2	小川中学校教諭	植田靖彦
	T 3	中央中学校教諭	堀口俊博

- 1 題材 自分の考えを訴えよう - 聞き手の心に届くようにスピーチする -  
(光村図書 国語3 単元 四 「状況に生きる」より)

### 2 題材について

#### (1) 題材観

本単元にある作品・文章は、人間一人の力ではどうすることもできないような大きな時代の流れの中において、嘆き、悲しみながらもその現実から逃れることなく、精いっぱい生きる人間の姿が描いてあり、その姿は誰にも「共感」を与えるものだと感じる。

この「共感」こそが、次の「書くこと」「話すこと・聞くこと」へとつながっていくと思う。それは、「共感」したことで、自分の中にしっかりとした「伝えたいこと」が生まれ、「伝えたいこと」があるからこそ「書くこと」や「話すこと・聞くこと」への意欲が高まり、工夫へつながると考えるからだ。ここで学習することは、聞き手の心に訴えるスピーチをするための、話の構成や表現のしかた、話し方の工夫について考えることであるが、「共感」「意欲」「工夫」という展開の中で学習できる本単元・題材は、中学校生活をまとめるうえで重要なものと思われる。

また、これから進路選択という現実と直面する3年生にとって、自分自身を取り巻く状況を見極め、その状況にどのように立ち向かい、生き抜いていくのかについて考えを深めていくことはとても意義深いことだと思う。

#### (2) 系統観

##### ① 学年別の系統について

1年では、グループディスカッションを通して意見交換をすること、2年では、感想交流会を通して感想の深まりを伝え合うことなどを学習してきた。3年では、自分の考えを訴えることを目標に、聞き手の心に訴えるスピーチをするための話の構成や表現の仕方、話し方の工夫について学習する。

##### ② 単元のなかでの系統について

【読むこと】さまざまな状況の中で生きる人々への共感をもたせることで、生き方やものの考え方の幅を広げる。

【書くこと】さまざまな材料を集めることで考えを深める。

【話すこと・聞くこと】

書くことによって整理された思いを伝え合うことでさらに自分の考えを深める。

#### (3) 生徒観

題材に関するアンケートの結果は次の通りである。

質問の内容	はい	いいえ
問1 国語の学習の中で文学教材を学習することは好きですか。	77.4%	22.6%
問2 文章を書くことは好きですか。	19.4%	80.6%
問3 話すこと・聞くことは好きですか。	45.2%	54.8%
問4 文章を書いたり、話をしたりするときに読み手や聞き手を意識しながら工夫したことはありますか。	51.6%	48.4%

○それぞれの質問に対する理由として(同じ生徒のアンケートより)、

問1 (はい) … 内容や筆者の気持ちなどがわかったときはすごく楽しいから

問2 (はい) … 自分で思ったことを素直に表現できるから

問3 (いいえ) … 人前で話すことが恥ずかしいから

というのがあった。「恥ずかしい」という生徒の反応には、「慣れていない」という原因が大きく影響しているように思う。本来、国語を苦手としている生徒だけではなく、「読むこと」や「書くこと」を得意としている生徒でも、「話すこと・聞くこと」(特に、「話すこと」)に対する抵抗感の強さを感じる。

#### (4) 指導観

生徒観で書いたことは、学習指導要領が改訂されてからの私たちの課題であると捉えている。「文学的な文章の詳細な読解」に偏りがちであった指導のあり方から、「論理的に意見を述べ

る能力」「目的や場面などに応じて適切に表現する能力」「目的に応じて的確に読み取る能力」などを育てる授業展開が望まれているにも関わらず、充分ではなかったため、国語が好きで得意としてきた生徒のなかにも「話すことが苦手」とする生徒が多く存在するのが実態である。

そこで、今回の学習では、「聞き手の心に訴えるスピーチをするための、話の構成や表現のしかた、話し方の工夫を考える」という学習内容を念頭に置きながら、さらに、生徒たちの習熟度を考慮し、個に応じた指導を充実させるためにも、次の3コースで指導に取組みたい。

- ① 話し方を身につける（声の大きさ・速さ・強弱・間の取り方など）【基礎コース】 T 1
- ② ①+話の構成や表現のしかたを身につける 【充実コース】 T 2
- ③ ①+②+視覚的な効果などを取り入れた工夫を身につける 【発展コース】 T 3

### 3 学習指導の目標

A - 2・3 - ア	広い範囲から話題を求め、話したり聞いたりして、自分のものの見方や考え方を広めたり、深めたりすること。
A - 2・3 - イ	話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりすること。
A - 2・3 - ウ	話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりすること。

○声の大きさや速さ、強弱、間の取り方などの話し方を工夫しながらスピーチをさせる。

○話の構成や展開を工夫しながらスピーチをさせる。

○視覚的な効果などの工夫をしながらスピーチをさせる。

### 4 指導と評価の計画（6時間取り扱い）

次	時	学 習 活 動	評 価 規 準	評価方法
1	1	○「聞き手の心に訴えるスピーチを考えよう」を読み、自分のスピーチの方法を考える。	《関心・意欲・態度》 ・聞き手の心に届くようなスピーチを工夫しようとしている。	観察 シート
2	2	○スピーチのメモを作る。 ○どんな工夫をするか考える。 ○聞き手の心に届くようなスピーチとなるように練習を行う。	《技能》 ・話し方に工夫しながらスピーチをしようとしている。 ・話の構成や展開を工夫しながらスピーチをしようとしている。	発表 聞き取りメモ 発表 聞き取りメモ
3	2 本時 2/2	○スピーチの会を開く。 【3コース】	・視覚的な効果などの工夫をしながらスピーチをしようとしている。	発表 聞き取りメモ
4	1	○相互評価を確認する。 ○自分の考えを深める。	・聞き取りメモを活用しながらスピーチの評価をしようとしている。	聞き取りメモ 聞き取りメモ

### 5 本時の学習

#### (1) 目標

【話すこと】学習の目標に応じて話す工夫をしながらスピーチをすることができる。

【聞くこと】聞き取りメモを活用しながらスピーチに対する評価ができる。

#### (2) 評価（話すこと①・②・③はコース別）

評価項目	評価基準	つまずきへの手だて
関・意・態	学習の目標に応じて、聞き手の心に届くようなスピーチを工夫しようとしている。	学習の目標や評価の観点を明確にすることで、何を大切にしながらスピーチすべきかを徹底する。
話すこと①	話し方に工夫しながらスピーチしようとしている。	各コースごとの学習目標や学習内容を確認しながら、スピーチの会を開く。
話すこと②	話の構成や展開を工夫しながらスピーチをしようとしている。	
話すこと③	視覚的な効果などの工夫をしながらスピーチをしようとしている。	
聞くこと	聞き取りメモを活用しながらスピーチに対する評価をしようとしている。	メモの形式は事前に準備し、記入しやすいような配慮を行う。

(3) 展開 [形態：Aは一斉・Cはコース別]

過程	機能	形態	学 習 活 動	基本発問・指示
導入 7分	能	A	1【話すこと・聞くこと】トレーニング ※その日の【話すこと】の担当者が、1分ほどの原稿を作り（探し）、聞き取りの問題を2問出題する。担当者が答えを確認し、自己採点をする。	○本時の【話すこと】の担当者を確認し、トレーニングを開始するように指示する。
3分			《 教 室 移 動 》	○コース別に教室を移動するように指示する。 →〈視点2〉
展開 2分	徹	C	2本時の目標を確認する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【基礎コース】(T1) 話し方に工夫しながらスピーチをする                      【充実コース】(T2) 話の構成や展開を工夫しながらスピーチする                      【発展コース】(T3) 視覚的な効果などの工夫をしながらスピーチをする</p> </div>	
35分	能	C	3スピーチの会を開く。  ○進行：T1・T2・T3  ○発表時間は（目安として） 基礎・充実 1分程度 発展（含 準備）2分程度  ○一人の発表後、聞き取りメモの記入 5分程度  ○発表に対する意見（評価）交換 3分程度  ○発表者は各コース4人程度	○本時の担当者を確認し、スピーチの会を開くように指示する。 →〈視点2〉
まとめ 3分	能	C	4本時の学習のまとめをする。	○本時の学習（生徒の発表や聞くこと）に対する感想を生徒に伝える。

教師の支援	評価（評価方法）	備考
<p>○担当者の原稿や質問内容については事前に指導しておく。</p> <p>○授業始めの雰囲気作りに配慮する。</p> <p>○担当者の進行の仕方は普段から練習をしているが、支援が必要な場合のみ、支援を行う。</p>	<p><b>【聞き取りカードによる自己評価】</b></p> <p>○態度面</p> <p>A たいへん集中して聞くことができた</p> <p>B 集中して聞くことができた</p> <p>C 集中して聞くことができなかった</p> <p>○技能面</p> <p>A 2問正解</p> <p>B 1問正解</p> <p>C 正解なし</p>	<p>聞き取りカード</p>
<p>○目標を明確にすることで、【話すこと】に関する身につけたい手段や方法を一人ひとりに意識させたい。</p> <p>→〈視点1〉</p> <p>○担当者の原稿や資料などは事前に確認し指導しておく。</p> <p>○聞き取りメモなどの準備物の確認をし、会の雰囲気作りに配慮しながら発表を始めさせる。</p> <p>○聞き取りメモには、発表者自身、また、聞き手それぞれが身についたと思うこと身につけていると評価できることを記入できるようにし、学習の成果を相互に評価することで、次の段階への意欲へとつなげていきたい。</p> <p>→〈視点3〉</p>	<p><b>【話すこと】（発表）</b></p> <p>○基礎コース・・・次のようにスピーチすることができる。</p> <p>声の大きさや話す速さ、強弱、間の取り方が聞き取りやすいものであった。</p> <p>○充実コース・・・次のようにスピーチすることができる。</p> <p>〈序論・本論・結論〉〈起承転結〉などの話の構成やつなぎ言葉の使い方が聞き取りやすいものであった。</p> <p>○発展コース・・・次のようにスピーチすることができる。</p> <p>視覚的な効果などの工夫が巧みで、聞き手に「聞きたい」と思わせるようなものであった。</p> <p><b>【聞くこと】（聞き取りメモ）</b></p> <p>○基礎コース・・・声の大きさや話す速さ、強弱、間の取り方に対する評価をすることができる。</p> <p>○充実コース・・・話の構成やつなぎ言葉の使い方に対する評価をすることができる。</p> <p>○発展コース・・・視覚的な効果などの工夫が話に生かされているかどうか評価することができる。</p>	<p>短冊</p> <p>聞き取りメモ</p>
<p>○できたことに関しては認め、足りなかったことに関しては指導をし、次の学習へとつなげるような話をする。</p>		